

これは、東方如何月の大会におけるルール概要になります。
基本的にこれに従ってプレイしてください。

試合前の確認事項

- ・大会初参加者は大会運営よりルール解説を必ず聞いてください。
- ・所謂プロキシの使用は禁止です。
大会での使用札は全てテレピン 1000ml の頒布物を使用してください。
- ・スリーブを使用する際はデッキのすべての札に共通のスリーブを使用してください。
- ・試合間での札の交換は原則禁止です。
デッキシートに記入したデッキを使用してください。
- ・試合前に東方如何月 Wiki・交流会情報内の要注意札一覧を確認し、
デッキに含まれる札については注意事項や効果を予め確認しておいてください。

試合に関するルール事項

- ・試合開始前にデッキが 12 枚あり、
かつデッキシートに記入した内容と同じか確認してください。
試合中並びに試合後に枚数違いや札違いが発覚した場合は、原則反則負けとなります。
- ・攻撃フェーズにおける
攻撃スペルの宣言→単体攻撃・弾幕攻撃の指定、
攻撃対象の指定→攻撃対象を表向きにする、回避スペルの宣言→回避判定、
の 3 つの移行タイミングは必ずお互いで行為の確認を取った後に移行します。
お互いで確認が取れるまで移行は原則禁止です。
 - ▲攻撃スペル宣言では攻撃スペル札が攻撃態勢になっている場合、
スペル発動の有無を言葉等で伝え双方で確認をとります。
 - ▲攻撃対象の指定では、双方で攻撃対象の確認が取れた後に
攻撃対象になった札を表向きにします。
 - ▲回避スペル宣言では回避スペル札が攻撃対象になっている場合、
スペル発動の有無を言葉等で伝え双方で確認をとります。
- ・フェーズ、宣言の巻き戻しは原則禁止ですが、
プレイヤー同士で合意があった場合は可能です。
- ・表向き札の回避判定やターン繰越の効果(『⑦《Revengeful Ghost》魅魔』)などは
お互いに誤認や効果を忘れたままフェーズが流れることがあります、
こちらに関しても巻き戻しは原則禁止です。
- ・投了負けは可能です。 その場合は投了を行う側が投了を宣言し、
相手が同意した後に自身の自機札を捨て札に送ることで投了が成立します。
これ以外のいかなる言動は投了に影響しません。

- ・試合終了後にお互いデッキとデッキシートを交換し、相手のデッキに不正がなかったか確認してください。
- ・試合は1試合20分を目安に行います。過度な長考は控え、行う際は相手に同意を得て行うよう心掛けてください。
- ・過度な舌戦や大声など、相手の気分を害したり急かしたりする行為は控えてください。不快に感じた言動があった場合は相手に一定の行動が不快であることを警告することが可能です。警告後も複数回続いた場合は主催並びにヘッドジャッジに伝え、反則負けを宣言することが可能です。

最後に、このゲーム「東方如何月」は一手一手の行動が大きく勝敗に影響し、試合終了後に逆転手段が見つかることも多々有るゲームです。この点はこのゲームの面白さであると同時に、景品や名誉のかかる大会では興奮や緊張等に影響を与え、自身への後悔や対戦相手への中傷に向く可能性があることも承知しています。上記のルールは皆様に東方如何月大会を気持ちよく楽しんで頂けるよう作成しました。大会中はルールを守ってプレイして頂けるよう宜しくお願い致します。